科目名			担当教員	
心理学的支援法Ⅱ			秋田　恭子	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FF3557	2	1	RorSR（講義）	2年以上
履修登録条件		「心理学的支援法Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録可能です。		
生成AI利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

※2018年度以降に入学した方が対象の科目ですが、2017年度以前入学者で「心理療法」（科目コード：FF3520、4 単位）を単位修得していない方は、この科目を履修登録できます。単位修得済の方は履修登録できません。

※この科目は、スクーリング受講にあたって条件がありますので、ご注意ください。

科目の概要

■科目の内容

心理療法は、今から100年前に誕生し、発展してきた学問領域です。他の科学と比べると若い学問領域でありますが、急速に理論と実践が発展してきています。それは、物が豊かになった現代社会において緊急課題となっている親子関係、対人関係、自分らしい生き方など、いわば「心のあり方」に関する事柄にこの学問領域が応えているからでしょう。

人間の心は、複雑に機能しつつもある程度のまとまりをもって機能しています。現代のような複雑な社会において、人間が人間らしく生きていこうとするといろいろな要因により心が充分に機能しなくなることがあります。心理療法とは、深刻な悩み、症状（身体症状も含めて）、問題行動、人格機能等を心理的側面から援助する学問です。人間が複雑な心の働きをするため、その接近法である心理療法も多種多様となります。

2019年の春には公認心理師の資格を取得した人たちが誕生しました。公認心理師の科目名としては、従来の「心理療法」の科目名が「心理学的支援法」になります。そこで、心理学的支援法Ⅱでは、3つの代表的な心理療法を学習することを目的とします。

■到達目標

1）代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界を説明することができる。
2）訪問による支援や地域支援の意義について説明することができる。
3）良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について述べることができる。
4）プライバシーへの配慮について説明することができる。
5）心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について解説できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験60%

■教科書・参考図書

【教科書】（「心理学的支援法Ⅰ」と共通）

末武康弘『心理学的支援法―カウンセリングと心理療法の基礎』誠信書房、2018 年

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。

※「心理学的支援法Ⅰ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

【参考図書】

（第６章・第７章）

ヴィクトル・フランクル著　赤坂桃子訳『ロゴセラピーのエッセンス』新教出版社、2016 年

畠瀬稔著『エンカウンターグループと心理的成長』創元社、1990 年

倉戸ヨシヤ『ゲシュタルト療法―その理論と心理臨床例　（二十一世紀カウンセリング叢書）』駿河台出版社、2011 年

村瀬孝雄著『フォーカシング事始め―こころとからだにきく方法』金子書房、1996 年

村瀬孝雄・阿世賀浩一郎「体験過程とフォーカシング」上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編著『臨床心理学大系８心理療法 2』金子書房、1999 年

村山正治著「エンカウンターグループ」上里一郎・鑪幹八郎・前田重治著『臨床心理学大系８　心理療法 2』金子書房、1999 年

ロジャース、C．R．著　畠瀬稔・畠瀬直子訳『エンカウンターグループ』創元社、1982 年

佐治守夫・飯喜一郎編『ロジャーズクライエント中心療法』有斐閣、1988 年

末武康弘・保坂亨・諸富祥彦訳『カウンセリングと心理療法』（ロジャース主要著作①巻）岩崎学術出版社、2005 年

末武康弘・保坂亨・諸富祥彦訳『クライエント中心療法』（ロジャース主要著作②巻）岩崎学術出版社、2005 年

末武康弘・保坂亨・諸富祥彦訳『ロジャースが語る自己実現の道』（ロジャース主要著作③巻）岩崎学術出版社、2005 年

（第８章）

＜フロイト＞

土居健郎著『新訂　方法としての面接』医学書院、1992 年

福本修監訳『フロイトを読む一年代順に紐解くフロイト著作』岩崎学術出版社、2013 年

前田重治編『カウンセリング入門』有斐閣選書、1986 年

妙木浩之著『フロイト入門』ちくま新書、2000 年

妙木浩之著『初回面接入門』岩崎学術出版社、2010 年

M．カーン著、妙木浩之監訳、秋田恭子・清水めぐみ訳『ベイシック・フロイト―21 世紀に活かす精神分析の思考―』岩崎学術出版社、2017 年

＜ユング＞

河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館、1967 年

河合隼雄著『箱庭療法入門』誠信書房、1969 年

河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房、1970 年

鈴木晶著『フロイトからユング』日本放送出版協会、1999 年

＜アドラー＞

岸見一郎著『アドラー心理学入門』KK ベストセラーズ、1999 年

野田俊作著『アドラー心理学を語る 1～4』創元社、2017 年

＜新フロイト派＞

E．フロム著　鈴木晶訳『愛するということ』紀伊国屋書店、1991 年
K．ホーナイ著　霜田静志訳『自己分析』誠信書房、1981 年
H．S．サリヴァン著　中井久夫共訳『精神医学的面接』みすず書房、1986 年
＜その他＞
W．R．D．フェバーン著　相田信男・栗原和彦訳『対象関係論の源流―フェアバーン主要論文集』『メラニークライン著作集 1～7 巻』誠信書房
丸田俊彦著　『コフート理論とその周辺―自己心理学をめぐって』岩崎学術出版社、1991 年
M．リカーマン著　飛谷渉訳『新釈　メラニークライン』岩崎学術出版社、2014 年
舘　直彦著『ウィニコットを学ぶ』岩崎学術出版社、2013 年
『ウィニコット著作集 1～8 巻　別冊 2 巻　書簡集』岩崎学術出版社
（第９章）
藤山直樹・伊藤絵美著『認知行動療法と精神分析が出会ったら―こころの臨床達人対談』岩崎学術出版社、2016 年
伊藤絵美著『ケアする人も楽になる　認知行動療法入門　BOOK1』医学書院、2011 年
大野裕著『こころが晴れるノート：うつと不安の認知療法自習帳』創元社、2003 年
山上敏子著『方法としての行動療法入門』金剛出版、2007 年（その他）
窪内節子・吉武光世共著『やさしく学べる心理療法の基礎』培風館、2003 年
村上伸治著『現場から考える精神療法ーうつ、統合失調症、そして発達障害』日本評論社、2017 年
M．F．ソロモンほか著、妙木浩之・飯島典子監訳『短期力動療法入門』金剛出版、2014 年
S．F．アッシャー著、岡野憲一郎監訳・重宗祥子訳『精神力動的サイコセラピー入門』岩崎学術出版社、2018 年
H．ピンスカー著　秋田恭子他訳『サポーティヴ・サイコセラピー入門』岩崎学術出版社、1997 年
ｐ．ペリー著　鈴木龍監訳『まんがサイコセラピーのお話』金剛出版、2013 年
瀧本孝雄著『カウンセリングへの招待』サイエンス社、2006 年
氏原寛・成田義弘共編『臨床心理学①カウンセリングと精神療法』［心理治療］培風館、1999 年
上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編『臨床心理学大系 7　心理療法 1』金子書房、1990 年
吉田弘道著『心理相談と子育て支援に役立つ　親面接入門』福村出版、2013 年

スクーリング

■スクーリング受講条件

スクーリング申込締切日までに、下記の科目のレポート提出済であること。
2018 年度以降入学者：「心理学概論 A」「心理学概論 B」「福祉心理学」「臨床心理学概論Ⅰ」
2017 年度以前入学者：「心理学概論」「福祉心理学」「臨床心理学」

■スクーリングで学んでほしいこと

様々な心理療法があり、それぞれの理論的背景、アプローチの違いを習得してほしい。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	心理療法の概要と実際①	心理療法の歴史について

2	心理療法の概要と実際②	精神分析について
3	心理療法の概要と実際③	クライエント中心療法・フォーカシング・エンカウンターについておよびビデオ学習
4	心理療法の概要と実際④	認知行動療法およびビデオ学習
5	心理療法の概要と実際⑤	箱庭療法・内観療法・森田療法およびビデオ学習
6	心理療法の概要と実際⑥	プレイセラピーおよびビデオ学習、ブリーフセラピー
7	心理療法の概要と実際⑦	アウトリーチ・危機介入と心のケア
8	心理療法の概要と実際⑧	心理教育およびコラージュ療法、スクィグル技法などのビデオ学習
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付レジュメを用いて講義を進めます。それぞれの療法の場面のビデオをみます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（自筆ノートのみ持込可）。

テストには、スクーリング中に見ていただくカール・ロジャースの面接場面のビデオについての出題が含まれます。そこには、到達目標にある、クライエント中心療法の特徴を捉えた上で、自分自身の見解をどれぐらい論述できるかについて問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書には目を通してきてほしい。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	心理学的支援法の主要理論（その 1）第６章 1	心理学的支援法の基礎としてのパーソンセンタードセラピーはどのようなものかを学ぶ。パーソンセンタードセラピーの歴史的発展についてその概要を学ぶ。	心理療法の歴史の中でパーソンセンタードセラピーの位置づけについて理解する。
2	心理学的支援法の主要理論（その 1）第６章 2⑴⑵	パーソンセンタードセラピーの主要な理論を学ぶ①。	パーソンセンタードセラピーの自己理論と支援理論について理解する。
3	心理学的支援法の主要理論（その 1）第６章 2⑶	パーソンセンタードセラピーの主要な理論を学ぶ②。	パーソンセンタードセラピーのプロセスについて理解する。
4	心理学的支援法の主要理論（その 1）第６章３	パーソンセンタードセラピーの方法を学ぶ。	非支持的応答や一致とプレゼンスについて理解する。

5	心理学的支援法の主要理論（その２）第７章１	パーソンセンタードセラピーの発展的方法を学ぶ。パーソンセンタードアプローチ（PCA）とはどういうものかを学ぶ	エンカウンターグループおよびパーソンセンタードアプローチ（PCA）とはどういうものかについて理解する。
6	心理学的支援法の主要理論（その２）第７章２	ロジャース以後のパーソンセンタードの主要な発展を学ぶ①。	体験過程の理論、フォーカシングについて理解する。
7	心理学的支援法の主要理論（その２）第７章2⑷	ロジャース以後のパーソンセンタードの主要な発展を学ぶ②。	体験的セラピー、エモーションフォーカストセラピー、プリセラピーにいついて理解する。
8	心理学的支援法の主要理論（その２）３	パーソンセンタードセラピー以外の主要なヒューマニスティックセラピーを学ぶ。	ゲシュタルトセラピー、現存在分析、ロゴセラピーについて理解する。
9	心理学的支援法の主要理論（その３）第８章 1⑴⑵	精神分析およびそこから発展してきた精神力動的な理論とはどのようなものかを学ぶ。	精神分析および精神力動的なセラピーとは何か、精神分析の基本的な理論（局所論・力動論・エネルギー経済論）を理解する。
10	心理学的支援法の主要理論（その３）第８章 1⑴⑵	精神分析およびそこから発展してきた精神力動的な理論とはどのようなものかを学ぶ。	精神分析の基本的な理論（発達論・構造論・防衛機制論）を理解する。
11	心理学的支援法の主要理論（その３）第８章 1⑶	精神分析から発展した精神力動的な理論を学ぶ①。	自我心理学、対象関係論を理解する。
12	心理学的支援法の主要理論（その３）第８章 1⑷	精神分析から発展した精神力動的な理論を学ぶ②。	ユングの分析心理学、アドラーの個人心理学、新フロイト派について理解する。
13	心理学的支援法の主要理論（その４）第９章１	認知行動療法とはどのようなものであり、どのように発展してきたのかを学ぶ。	認知行動療法とは何か、その歴史を理解する。
14	心理学的支援法の主要理論（その４）第９章２	認知行動療法の主要な理論を学ぶ。	行動療法の理論、認知的アプローチの理論を理解する。
15	心理学的支援法の主要理論（その４）第９章３	認知行動療法の主要な方法を学ぶ。	レスポンデント条件づけに基づく方法、オペラント条件づけに基づく方法、応用的な諸方法を理解する。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	心理学的支援法のうち、精神力動的セラピー、パーソンセンタードセラピーと認知行動療法の３つの療法のそれぞれについて、主な理論と方法について 2,000 字程度でまとめなさい。参考文献また、引用文献をそれぞれの療法に関して、最低１冊ずつ上げること。そして、レポートの最後に何字で作成したかを明記してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

また、教科書巻末の用語集をよく読んでください。各章の末尾の理解度確認テストで 8 問以上正解できるようにしてから、客観式レポート課題に解答してください。

教科書でわからないところは参考文献を読み、理解を深めてください。

【2 単位めアドバイス】

心理療法の 3 つの代表的な療法です。様々なテキストでとりあげられています。それらも参考にしながら、とくに参考図書でとりあげられている本をよく読んでください。また余裕があれば原著の翻訳を読んで書いてください。そして、それぞれの療法の違いを明確に書いてください。

科目修了試験

■評価基準

用語と内容を正しく理解し、記述していること。また、具体例を求められている問題では、具体例と全体的な説明の両方が的確に関連付けられ、記述されていることが評価されます。